

マイコプラズマ感染症について

- マイコプラズマ感染症は、咳・発熱・頭痛などのかぜ症状を特徴とする呼吸器感染症で、若い人の肺炎の原因として比較的多いもののひとつです。多くの人は軽症で済みますが、肺炎を起こすことがあります。
- 感染している人の咳のしぶきを吸い込んだり、友人同士が身近で接触することによりうつります（飛沫感染）。

マイコプラズマ感染症を予防するには・・・

- 普段から、うがい、手洗いを心がけましょう。
- できるだけ、人ごみは避けましょう。
- 咳などの症状がある人は、マスクを着用するなど「咳エチケット」を心がけましょう。
- 咳・発熱などの症状が出たら、早めに医療機関を受診しましょう。



マイコプラズマ感染症と診断されたら・・・

学校感染症の第3種に該当し、主治医の許可が出るまで出席停止となります。

診断されたら、まずは所属の学部事務室へ電話連絡しましょう。

学校感染症に関する情報は、保健館HPにも掲載しています。

http://www.kwansei.ac.jp/f_health/f_health_003707.html

ご参考（厚生労働省HP：マイコプラズマ肺炎に関するQ&A）

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou30/>

